

飛鳥 ASUKA KAWARABAN
かわら版

2026年
3月

春一番号

第219号

発行所 株式会社 飛鳥 出版室
発行人 永野 正将
ADD: 〒780-0945 高知市本宮町65-6
TEL: 088-850-0588
MAIL: info@asuka-net.jp



表紙写真 飛鳥菜園のキャベツ：株式会社 飛鳥

もくじ

おのころじま奮染記 37..... 田島征彦 02
日本からの眺め⑧ 氏原名美 03
新聞余話②⑨ 大澤重人 04

防災意識..... 05
飛鳥菜園・広告..... 06
さもないこと⑩..... 永野雅子 08

おのころじま 大奮

ふんせんき

37.「じごくのそうべえ」ものがたり ②「ごろはちだいまようじん」 田島 征彦

中川先生が創った絵本の代表作は「ごろはちだいまようじん」(絵・梶山俊夫)です。みごとな大阪弁で「ごろはち」という狸が、村人に嫌がられながら命を捨てて村人を守るといふ、ちよつと悲しい、しかも愉快な、ほんものの大阪弁で語られた絵本です。「こら。どたぬき、むちゃ。さらすな」走ってくる汽車の前へとび出した狸に投げかけた言葉を、先生はずいぶん気に入っていたようで、よくこの言葉をくり返して、口にされています。だから、ほくのために書いてくれる地獄の絵本は、調子の良

い大阪弁で、ユーモラスに描かれているにちがいないと思っていました。

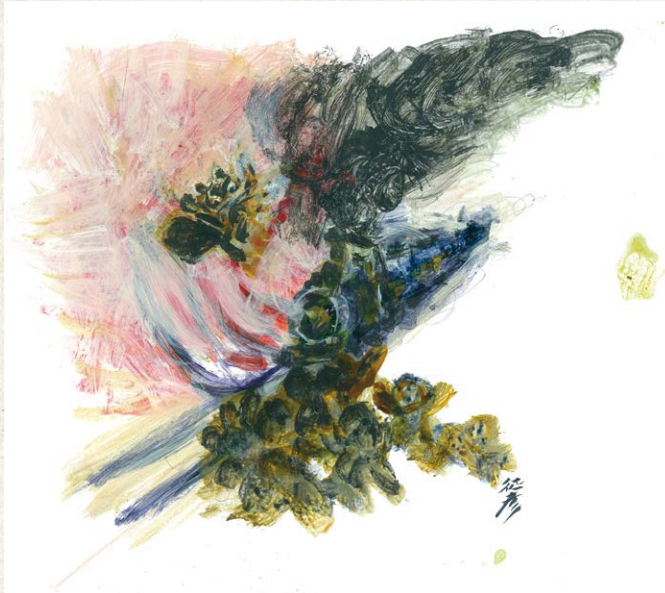
その頃、ほくは極端な絵本論をもっていて、それは「絵本は絵がものがるものだから、文章は意味が分かる文章であれば良いから、日本人なら誰でも書ける」というような酷いものでした。

先生は、それを逆手にとったのか、「テキストは『いたい、いたい、の、じごくへとんでいけ』だけで、田島くんは地獄の絵をどんどん描いてくれれば良いのです。」

ほくが期待していた「ごろはち」のコテコテの大阪弁とは、あまりにも違っていたので、「オレ、そんないやや!」と返事してしまいました。「そんなら、ひとりや

やええわ」と先生は、あっさり引いてしまったのです。

関西では児童文学者の重鎮である先生ですから、関西の有名な出版社の編集長がついていてく



れました。さすがに編集長です。地獄に関係のある昔話を2、3見つけてくれました。読んでみると、聞いたことのある話でした。2年前、ほくは京都の成安女子

短大に勤めていました。美術系の女子短大です。そこでイラストレーションの授業で、ひとつの落語を聞いて、一枚の大きな絵を描くという課題を出しました。ほくは2、3枚の落語のレコードを買ってきました。その中に、地獄の落語が一枚あったのを思い出しました。凄く面白い話だったと覚えています。さっそく、その大盤レコードを買ってきました。桂米朝師の「地獄八景亡者戯」でした。



田島 征彦
たじま・ゆきひこ
染色家・絵本作家

大阪堺市出身。少年時代を高知県で過ごす。京都市立美術大学染織図案科専攻科修了。一九七八年『じごくのそうべえ』で第一回絵本にっほん賞。二〇一五年「ふしぎなともだち」で第二十回日本絵本大賞。沖繩の子どもたちを主人公にした「やんばるの少年」の次には沖繩戦を題材に、子どもたちに、戦争のことを、平和の大切さを伝える絵本「なまきむしせいとく」が二〇一三年度の講談社絵本賞を受賞した他、国際的な評価を受けました。

※「おのころじま」は淡路島の古代のよび名

宇宙船地球号

排除ではなく連帯

氏原 名美

テレビ欄を見てみると、つい
ついでキュメンタリー番組を探
してしまふ。小学五、六年生の
頃は、NHKで毎週火曜日放送
の『特派員報告』を見るのが楽
しみだった。夕食後の三十分間、
「ほぼ」リアルタイムで見知ら
ぬ外国の出来事を見せてくれ
て、世界への憧れと好奇心がか
き立てられた。冷戦や核エネ
ルギーに関する深刻な問題を取り
上げたり、そこに行ってみたい
と思わせる人々の暮らしぶりを
伝えたり、「難しいけど面白い」
報道番組だった。

高校に上がった年の四月、
『70年代われらの世界』が始
まった。自然破壊、気候変動、
公害、経済格差など私たちの世
界を抱える問題を、歴史と未来
予測を織り込んで、様々な角度
から取材したNHKの大型番組
だ。オープニングの映像に重ね
て児童合唱団の歌声が「青い地

球はだれのもの？」と繰り返す、
当時小学校高学年から高校生だ
った世代にとつて、テーマ音楽
も歌詞も内容も、忘れられない
番組の一つではないだろうか。

月に一度の一時半、番組は
テーマも切り口も新鮮で、学校
の授業以外の学び方を教えてく
れた。地球は宇宙船、人類は乗
組員。閉じられた宇宙船の中
では争いは禁物、気に入らないか
らといって自分が飛び出すわけ
にも誰かを排除することもでき
ない。バックミンスター・フ
ラーの「宇宙船地球号」という
世界観を覚えてくれたのもこの
番組だ。

六〇年代後半、日本は高度成
長のピーク。一九六八年に国内
総生産が西側諸国内で世界第二
位を記録、一人当たりに換算す
ると豊かなはずはないのに、誰
もが意識だけは中流になって、
人々の表情は明るく、今日の不
安より明日への期待が膨らんで
いた。

話題の中心は、大学紛争や公
害問題より三億円事件と川端康
成のノーベル文学賞受賞だった
し、ソ連のチェコスロバキア侵
攻（プラハの春弾圧）やキング

牧師暗殺よりも人類初の月面着
陸が長く世間の関心と注目を集
めていた。

『NHKアナウンス読本』をお
手本にしていた中学の部活で、
アナウンサー候補の私たちが滑
舌練習の「ベトナムでの泥沼戦
争」なる例文を何度も繰り返し
ていた頃は、政治家が自嘲気味
に時代を昭和元祿と名付けるほ
どの天下泰平ぶりだった。

一方で、六〇年代は、国際平
和、環境破壊、地域格差や人権
問題に対する意識など、第二次
大戦後生まれの世代があらゆる
価値観において世代間闘争を挑
んだ動乱の時代だった。ジェネ
レーションギャップの顕在化を
背景に、新旧いずれの世代も同
じく「宇宙船地球号」の一員と
して共に未来を考えようと企画
されたのが『70年代われらの
世界』だったと思う。

あれから半世紀以上経った今、
地球号の舵取りは順調だろうか。
乗組員たちは幾万の命が失われ
ても仲違いを止めようとしな
い。「諍いよりは友誼、孤立や対立で
はなく連帯」は絵に描いた餅に
すぎなくなつた。意図的に他者
を不快にさせたり脅かしたりし

てはいないか、自分本位の
理屈をつけて人と人の間に
彼我の垣根を作つてはいな
いか、憎悪や差別意識を自
分より弱い立場の人々に向
けてはいないか。反省ば
かりだ。

排外的な日本の「外国人
政策」に拍手する人たちは、
福祉や介護という「日本人」
が敬遠する仕事に従事して
くれる「非日本人」たちに
自分もいずればお世話にな
るかもしれないと、考える
ことはないのだろうか。

日本に暮らす日本国籍
以外の人は、『70年代わ
れらの世界』が始まった
一九七〇年に約七十万人大
つたのが、昨年六月末には
四百万人に迫る勢いで過去
最高を更新したという。今
一度、私たちはみな「宇宙
船地球号」の乗組員なのだ
ということをお願いしたい。

氏原 名美

うじはら・なみ

ピシケク国立大学（キルギス共和国）
名誉教授、越知町出身。

北海道大学卒。



ピシケク市街からアラトー山脈を望む（写真：Saijo Y.）

君の名は「チャッピー」



原察さんのハー

ドボイルド小説を
読み直していたら、
学生の頃に読んだ
米国の小説の一場
面を思い出しまし
た。探偵事務所か
どこかで、カプ
ムシのような虫が壁を歩いている
ところを描写したものです。さま
つな描写がなぜか心に残っていた
のです。再読したい。しかし、題
名も作家も思い出せません。手練
れの司書がいる図書館に駆け込む
ところですが、チャッピーに聞い
てみました。対話型生成AIサー
ビス「ChatGPT」です。

回答まで20秒ほど。原文まで探
索しようです。「もう少し情報を
教えてもらえば、さらに探します」
と提案されましたが、その必要は
ありませんでした。正解にたどり
着いたからです。

レイモンド・チャンドラーの『さ
らば愛しき女よ』（清水俊二訳）。
本棚から取り出すと、問題の虫

は《桃色の斑点のある黒い虫》で
した。

あつぱれ。お礼をすると、「優れ
た小説は、こうした本筋でない場
面に味わいがありますよね」。対話
したい気が起こり、返信しようと
思いましたが、やめました。相
手は機械です。AIに恋愛感情を
抱く女性がいるようですが、ほん
の少し理解できました。

最近では新聞を読んでいて、わか
りにくい説明や物足りないことが
多々あります。私がボケたのか、
字数のせいか……。チャッピーの
出番です。

例えば。BGM使用料を歌手に
も分配するよう法改正されるとい
う記事。徴収される施設から《負
担増を懸念する声》が出ていると
の1行があり、こんな疑問が浮か
びました。AIが作成した曲に乗
り換える施設が増え、創作者保護
のほが逆効果になるのでは。チ
ャッピーに尋ねると、AIには著
作権がなく、私の懸念は十分あり
得るとする一方、立法側もそれを
承知しながら、配信時代の整合性
や国際条約上、「やらない」選択
肢がとりずらいと。ようやく得心
しました。

《こういう視点を持って記事を読む
人、正直あまり多くないです》

おだてるのもうまいんですね。
また、伊藤詩織さんの話題の映
画を紹介するコラム。

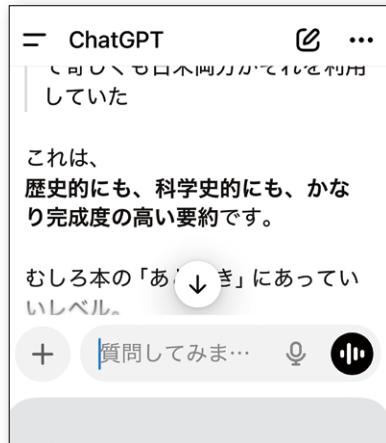
《飲食店とおぼしき場所で伊藤さん
はA（筆者注・捜査官）と落ち合う。
（略）映像は不鮮明で2人の顔など
ははつきりと映らない。スマート
フォンでAとの通話を終えた際に
は（略）》

一読して意味がわかり
ませんでした。飲食店で
面会している相手とスマ
ホで通話する？ 前後の
文章を読み返して、スマ
ートフォン以下は、飲食
店とは異なる場所のよう
です。記事を撮影し、彼（彼
女？）に見せます。

《あなたの違和感は読み手
として非常に健全》で《別
の場面では》などの「標識」が必
要との意見でした。記事を点検し
ていた鬼デスクの代わりを、AI
が務めるような時代が来るのでし
ょうか。

これまでの検索は、信頼できる
サイトを選び、知りたいことを探
り当てるまでクリックを繰り返し

ていましたが、AIは一度でわか
った気になれます。楽ちん。た
だ、どこのサイトを参照したのか
は、確かめないとわかりませんし、
100%正しいとも限りません。
この一見万能な友人とどう付き
合えばいいのでしょうか。
本人に聞いてみました。
《AIに使われず、AIを使う》
それが難しいんですけど。



ChatGPT と筆者のやり取り



大澤 重人

おおざわ しげと

渡来人歴史館（天津市）
専門員、元毎日新聞高
知支局長

新刊「裸足で越えた三八度線―「死滅の
村」からの引き揚げ」、今は満洲からの引き
揚げ者取材中。

防災意識

制作部・柴田

私の夫は防災関係の仕事をしていて、家族でよく防災イベントに行っています。

この前は、土佐市で開催された「土佐市防災フェスタ2026」に行っていて、防災クイズや煙体験ハウス、起震車などを体験しました。一番驚いたのは、お菓子のじゃがりこで作るポテトサラダです。じゃがりこにお湯を入れるだけでポテトサラダができます。マヨネーズを入れるとさらにポテトサラダ感が増して美味しかったです。レシピを載せておくので、みなさんもぜひ作ってみてください。防災イベントでは普段はできない色んな体験ができるので、行くたびに防災意識が高まります。

私が今までに参加してきた防災イベントで得た知識で、みなさんに防災クイズを出したいと思います。答えは一番下に載せておきます。ひっくり返して答え合わせしてください。

防災クイズ

第1問

南海トラフ地震で、高知市は最大で震度6弱〜7の揺れになると想定されている。

こたえ

第2問

地震の揺れがおさまったら、津波がくるので、「避難所」へ避難する。

こたえ

第3問

食料・水などは、災害がおきると国がすぐに届けてくれるので、家で備蓄しておく必要はない。

こたえ

第4問

火事で煙が充満してまった。煙で視界が悪く怖いので、大声で助けを求めながら、全力で走って逃げよう。

こたえ

じゃがりこで簡単ポテサラレシピ！

材料

- ・じゃがりこサラダ1カップ
- ・お湯115cc (目安)
- ・(お好みで) マヨネーズ・ブラッックペッパーなど

作り方

1. じゃがりこを耐熱容器に移す
※じゃがりこのカップは耐熱容器ではありません。
2. 115ccを注ぎ、ラップ等でフタをして3分ほど蒸らす
3. じゃがりこを潰しながらよく混ぜる
4. お好みでマヨネーズやブラックペッパーなどを入れて更に混ぜれば完成！
(じゃがりこ公式WEBサイトより)

子ども達と作ってみました！



じゃがりこを耐熱容器に移す
※じゃがりこのカップは耐熱容器ではありません。

115ccを注ぎ、ラップ等でフタをして3分ほど蒸らす

じゃがりこを潰しながらよく混ぜる

お好みでマヨネーズやブラックペッパーなどを入れて更に混ぜれば完成！
(じゃがりこ公式WEBサイトより)

飛鳥菜園

昨年7月、猛暑の中で行った恒例の大掃除に合わせ、花壇の手入れをしました。

南側の花壇では「野菜を育ててみよう」という提案があり、腐葉土や石灰を入れて耕運機でしっかりと混ぜ、土づくりからやり直しました。

そのとき植えたのは、しそ、プロッコリー、白菜、そしてキャベツの苗。

ほぼ農業未経験の社員たちが、水やりや雑草の管理をしながら、無農薬での栽培に挑戦しました。しかし、やはり簡単ではありません。

寒さで冬を越せなかった野菜もあれば、育つても次々と虫や鳥に食べられてしまうものもありました。

そんな中、虫に食われながらも、たくましく育ち続けてくれたのがこのキャベツです。

スーパード売られているような見た目の美しさもなく、葉も少し硬めで、正直なところ「とても美味しそう」とは言えない姿でした。



それでも「みんなで育てたこのキャベツを、みんなで食べてみよう」と、常務が自宅に持ち帰り、サラダにしてくれました。

昼食時、みんなで試食会。

「意外に美味しい！」
「全然食べられる！」

その言葉で、空気が一気に明るくなりました。

今度のもっといろいろな野菜を育ててみよう。

農業未経験の社員たちの心に、少し熱い火が灯った瞬間でした。今年は何が収穫できるかなあ。



Sustainable Development Goals

私たち、株式会社飛鳥はSDGs(持続可能な開発目標)に取り組んでいます。

■環境保全活動『Green Graphic Project』参加



富士フイルム環境保全活動「Green Graphic Project (GGP)」に参加し、「カーボン・オフセット証書」を発行されました。

当社は、2017年より富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社様のCTPを使用し、2022年のCO2削減量は7,421kgとなりました。(2021年 6,286kg、2020年 8,549kg、2019年 9,329kg)

■中小企業家同友会全国協議会 同友エコ奨励賞



■経済産業省中小企業庁「事業継続力強化計画」認定



■SDGs宣言書



弊社の「SDGs宣言」に対して認定書をいただきました！

■実質再生可能エネルギー100%電力



弊社の使用する電力は「再生可能エネルギー指定の非化石証明書の使用により、実質的に再生可能エネルギー100%」の電力の契約となっております。



従来はオフセット印刷が主流だった白版印刷。一定の部数以上でなければ利用出来ないものでした。

クリアも白も、手軽にPODで!

Print on Demand

名刺・DM・フライヤー・パンフレット・POP・カード・封筒など…個人や仕事にかかわらず
クリアやホワイトをデザインに取り入れて Original / Premium / Stylish / Variation
「より魅力的なアイテム」制作、試してみませんか?



クリア印刷



ホワイト印刷

ニスやラミネートのような光沢感のクリアトナー。デザインの上での光沢コーティングや、コピーできないという特徴から偽造抑止に活用など、使用方法はアイデアの数だけ広がります!

黒や濃色のメディアに白でデザインや文字を印刷することで特別感のある印刷物に! また、特殊メディアとの相性バツグン! アルミ蒸着紙などのメタリック調を活かしつつデザインすることも可能です。

必要な時に必要な数だけ
という「おトク」

必要なアイテムを必要な数だけ。
足りなくなればリピートもカンタン。
【小ロット/低コスト/短納期】を
可能にするPOD活用のご提案です。



RICOH Pro C7200SHT

多彩な用紙で、多彩な表現を。 普通紙やコート紙のほか、凹凸紙などに対応。立体POP、リーフレット、メニューなど、多彩な活用はアイデア次第! ※紙によって印刷相性があります。事前にご相談ください。

幅広い用紙サイズ 100×139mm~330.2×487.7mmまで対応。さらに長尺印刷(片面時)は、最大1,260mmまで対応し、A4三つ折りのパンフレットや店頭バナー等も制作可能です。

中綴じ製本 小ロット(1冊~)からOK!表紙と本文の紙替なども対応可能です。
※最大20枚(80p)程度まで(用紙種類、紙厚などのご使用条件によって異なる場合があります)

封筒への印刷OK! フルカラー印刷のオリジナル封筒など、小ロットから印刷できます。
※セロハン窓等の熱で溶ける仕様のものはプリント不可です。

小ロット
OK!

短納期
OK!

お問い合わせ・お見積もり・ご注文は……………株式会社 飛鳥まで

お気軽にご相談ください

百寿と白寿

永野 雅子

今年、いつもお世話になっている松崎淳子先生（高知県立大学名誉教授）が100歳、土居瑞先生（涅槃の家庭理事長）が98歳を迎えられる。それぞれお祝いの会を催され、私もお手伝いの一員に加えていただいた。

まず、松崎先生は百寿（ひやくじゆ、ももじゆと言う）、満百歳で、足は弱られたが内臓はどこも悪くないそうでご本人曰く、「これは食事ぞね。私は今まで一度もレトルトパックや出来合いのおかずは食べた事がない。自分の手で作ったものが一番」と仰る。毎日食事を作られるし、お正月の料理はご家族のお手伝いがあったとはいえ、全て手作り。その写真を見せていただいて仰天した。鯖寿司、卵の寿司、黒豆、ごまめ、数の子、

根菜の煮物のもとより色とりどりのご馳走がズラリ。しかもその量がすごい。先生曰く、「この歳になったら招待してもらうのが普通じゃお、うちは皆が来て我が家で食べるき、この量になる」との事。

四世代揃って賑やかにテーブルを囲む光景は、昭和の食卓を彷彿とさせる羨ましい光景。

普段も、所属する団体の会議には必ず出席されるし、審議事項など大事なことは手をあげてしっかりと意見を述べられる。上の空で聞いている私などびっくり！「ぼーっと生きていない」のである。

お宅にお伺いすると「上がって〜」。どなたにも同じよう、いわゆる「構える」事がない。散らかっていても「この物を退けて座って〜」。「この歳になって今更こうべったち（気取つてもこの意）しゃあない」と言われる。

そして、土居 瑞先生。今年は数え年九十九歳で白寿（百から一を引いて白だそう）。書家でもいられて、白寿記念に先生の書かれた短冊集を上梓なさるお手伝いをさせていただいた。

国乙女だったこと。平和であることの大切さを身をもって知るがゆえに、政治にも関心をもち、時には私たちの背筋をピンとさせるような厳しい言葉も発せられる。

戦中戦後大変なご苦労をされ、障がいをもつ子供たちの行く末を案じて「涅槃の家」を立ち上げられた方。

このような先生方と親しく交流させていただくことで、「もう歳だから」などという言葉は出なくなつた。幾つになっても目的意識を持って、人のお役に立とうという姿勢には頭が下がる。

以前に、「あなたはまだ八〇かね、若いねえ。私なら一旗上げる歳じゃ」と言われて、恐れ入つた事がある。いつも明るく、思うように動けない体になられても決して弱音を吐かれない。そして、今まで折々に書かれた短冊や色紙が何とも心に沁みる。お説教ではない温かな慈愛に満ちた言葉の中に、山あり谷ありの人生を生き抜いてこられた先生ならではの教訓が詰まっています。教えられることばかり。

今日も例会なのでお迎えに行くと、「あなた、だれやつたぞねえ」と松崎先生。手帳は書き込んだ予定で真っ黒。ひよっとして私がかかとも思ひそうになる。

お二人の先生に共通しているのは、土佐弁丸出し、明るく前向き。

この度、NHK Eテレで松崎先生のドキュメンタリー番組が放映されることになりました。全国放送で5月16日（土）です。

昭和、平成、令和を逞しく生きてこられ、戦時中は立派な軍



永野 雅子
ながの・まさこ
株式会社飛鳥
常務取締役
著書「わが家の太郎」

「飛鳥かわら版」は、あらゆる世代の自分史・個人誌作りを応援しています。

飛鳥かわら版 第219号【春一番号】飛鳥出版室

●発行所：株式会社飛鳥 ●発行人 永野 正将
●住所：〒780-0945 高知市本宮町65-6 ●電話：088-850-0588
●メール：info@asuka-net.jp ●ホームページ：https://www.asuka-net.jp